

令和 5年度

事務事業評価表 ( 令和 4年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 5 年 4 月 12 日

事務事業名		社会教育委員運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020303000626
						単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系		政策体系上の位置付け						生涯学習課	
総合計画の施策名		0203 青少年の健全育成						課長名	
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	
施策名		03 青少年の健全育成						担当者名	
手段名		03 ③地域教育力の充実						生涯学習G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	01	02	00	社会教育総務事業		
法令根拠		桜川市社会教育委員に関する条例、桜川市社会教育委員会議運営規則							
【Do】		1. 事務事業の現状把握 (その1)							

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> <li>年1回、社会教育委員会議を開催し、社会教育に関する諸計画の立案及び必要な調査研究を行う。また、教育委員会の諮問に応じ、これに対し意見を述べる。</li> <li>また、県・筑西地方社会教育委員連絡協議会（市からは負担金等の予算支出なし）現地研修会・先進地視察研修会へ参加し県内外の社会教育事業等の状況把握と委員の資質向上を図り、市社会教育事業の推進に努める。（県関係研修会等は別シートで対応）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月：会議開催通知</li> <li>5月：資料作成</li> <li>6月：社会教育委員の委嘱（任期2年：令和6年度改選）</li> <li>6～7月：会議開催（事業概要・予算の報告他）・意見聴取、成果検証</li> <li>2月：報酬・旅費等の支払い</li> </ul> <p>随時：筑西地方研修会等参加要請（県関係は別シートで対応）</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
社会教育委員会議を開催する。 ・社会教育関係事業の概要や年度計画を説明 ・必要があれば社会教育に関する事項について諮問	市社会教育委員会議開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
桜川市社会教育委員	市社会教育委員数	人	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
社会教育団体関係者や専門家の意見を聴き、または提案を促すことで、市内の社会教育・生涯学習が推進される。	市委員会出席・参加延べ人数	人	8.00	14.00	15.00	15.00	15.00
	委員会出席・参加率	%	53.33	93.30	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	23	33	48	
		事業費計 (A)	千円	23	33	48	
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	04年度事業費 実績 (千円)			05年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	33		01 報酬	45	
				10 需用費	3	
	合計	33		合計	48	

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議開催</li> <li>【会議内容】事業概要・予算の報告・(教育委員会から諮問があった場合) 意見聴取</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育委員の委嘱 (任期: 2年)</li> <li>会議開催</li> <li>【会議内容】事業概要・予算の報告・(教育委員会から諮問があった場合) 意見聴取</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議開催</li> <li>【会議内容】事業概要・予算の報告・(教育委員会から諮問があった場合) 意見聴取</li> </ul>

事務事業名	社会教育委員運営事業	事務事業No.	20303000626	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜川市の社会教育の振興のため</li> <li>・昭和40年代頃（詳細は不明）</li> <li>・少子高齢化、国際化、情報化が進み、教育を取り巻く環境が急激に変化した。</li> </ul>					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
・特にない。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・社会教育委員に市の社会教育の概要等を説明することにより、地域教育力の充実につながることから、政策体系との整合性に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・国の法令により地方公共団体の責務となっており、行政として施策を行う必要がある。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ・市社会教育委員の活動は、年1回の会議のみだが、県内市町村の中には、独自の研修会や委員の社会教育活動など、活発な活動を行っているところもある。また、会議内容について、毎回別のテーマを設定し、活発な議論を展開している自治体もある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・法令等により、地方公共団体の責務となっており、廃止・休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない ・類似事業との統廃合・連携の可能性はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ・事業費が委員の報酬、需用費なので、これ以上の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・委員全員が対象であり、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	令和4年度は、社会教育委員10月に会議を開催した会議内容は、生涯学習課・スポーツ振興課・文化財課の事業概要と年間計画の説明を行ない、社会教育委員から了承を得た。また、教育委員会から2件の協議案件が諮問されたため、会議で協議し、答申を出した。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 会議内容の検討を行う。 例えば、会議の後に社会教育委員を対象にした研修会を開催するなど。 茨城県社会教育連絡協議会会長が無料で出前講座を行っているので、利用する方法も考えられる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上維持低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果																								
		②																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認